

TDB-FHDGX

1080PフルHDドライブレコーダー

取扱説明書 兼 保証書

この度は、ドライブレコーダーをお買い求めいただき誠にありがとうございます。
こちらの取扱説明書をよく読んで頂きご利用ください。

本製品を使用したことによるデータの消失などにつきましては、一切保証致しかねます。商品のサポート時に本保証書とお買い上げのレシートなどが必要になりますので大切に保管願います。当社において修理が困難と判断した場合は、同等品と交換させていただきます。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



異常な音や発熱、異臭がした場合はすぐに使用を中止して電源を切り、お手を触れずに
すぐに販売店または弊社までご連絡ください。

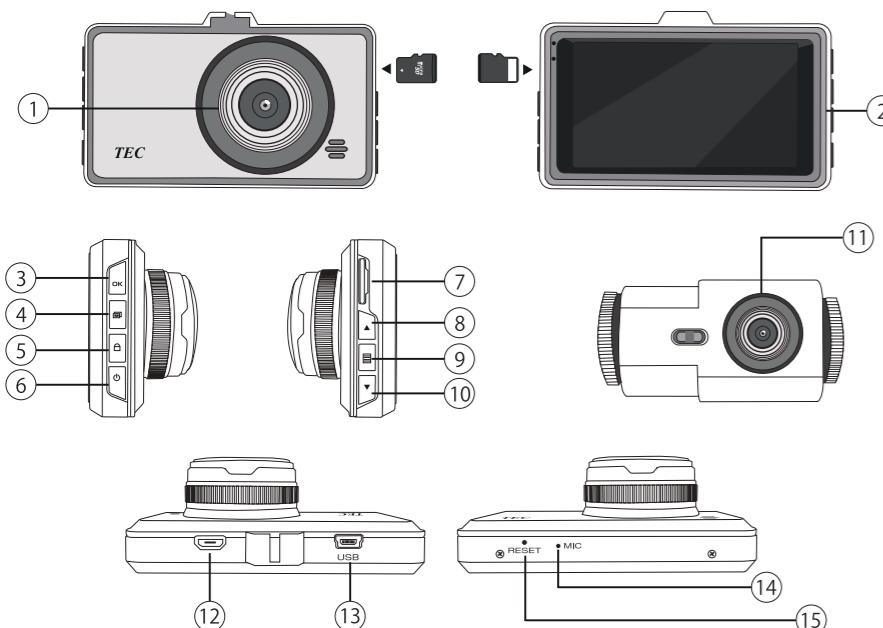


自分で分解・改造・修理はしないでください。けがや火傷、感電の恐れがあります。
内部の点検や修理は販売店または弊社にご相談ください。



小さなお子様だけでの使用、乳幼児の手の届くところでの使用および保管は避けてください。
けがや火傷、感電の恐れがあります。

各部詳細



- 1) フロントカメラレンズ 6) 電源ボタン 11) リアカメラレンズ
2) 液晶画面 7) MicroSD カード挿入口 12) リアカメラ電源用 microUSB ポート
3) 決定ボタン 8) 上ボタン 13) フロントカメラ用 miniUSB ポート
4) モード切替 9) メニュー選択 14) マイク
5) 手動ファイル保護 10) 下ボタン 15) リセット

※SDカード挿入時は正しい向きで挿入行って下さい。
SDカードの取り出し時は、カードを本体側に押し込んで頂くと、カードが飛び出し、取り出す事が出来ます。
無理に引き抜くと破損の原因となりますのでご注意下さい。

1

	濡れた手で触れたり操作しないでください。また、機器に水などの液体をかけないでください。 ショート・感電・故障の原因となります。
	メモリーカードは乳幼児の手の届くところには置かないでください。誤って飲み込むと、 身体に悪影響を及ぼします。万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

注意

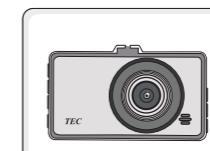
「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	本体を投げたり、落とすなど強い衝撃を与えないでください。機器の破損、故障の原因となったり、けがの原因となります。
	本来の用途以外には使用しないでください。事故や故障の原因となります。
	病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが、 計器類に影響を及ぼす事があります。
	本機で作成されたデータの管理につきましては、お客様ご自身の責任にてお願い致します。 大切なデータはバックアップを取る事をお勧めします。製品の故障などで、データが消失した 場合も、データの復旧などの補償はご対応が出来かねます。
	本機を廃棄する場合は、各自治体の指示に従って廃棄してください。

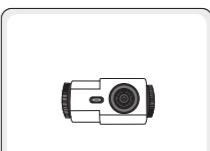
- LED 信号の撮影時は信号がちらつく場合がございます。これは保存するフレーム数による影響で、本製品の問題ではありません。予めご了承いただきようお願い致します。また、電源周波数帯を変更することにより改善する場合がございます。
- 付属のシガーアダプター内にはヒューズが搭載しております。
ヒューズは消耗品の為、保証の対象外となります。
ヒューズが切れた場合は市販の同型のものと交換を行って下さい。

パッケージ内容

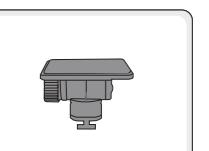
付属品が全てそろっている事をご確認頂き、取り付け前に必ず本体の通電確認を行って下さい。万が一付属品の欠品や、本体が動作しないなどの場合は、
ご購入店または弊社サポート窓口までお問い合わせ下さい。取付は自己の責任において行って下さい。取付時の怪我や車体の破損などの二次的な損害は全て保証の対象外となります。取付方法のお問い合わせにつきましては車種によって異なる為、
ご対応が出来かねます。



フロントカメラ



リアカメラ



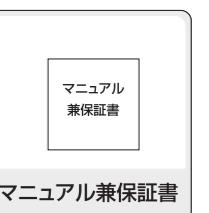
取付ステー



バックカメラ
延長ケーブル



シガーアダプター



マニュアル
兼保証書

※ご利用にはmicroSDカードが必要です。
SDカードの故障により正常に録画されない場合が御座いますので、
取り付け前に録画のテストを行って下さい。

4

各部位・ボタン説明

1) フロントカメラレンズ

2) 液晶画面

録画データ再生や、録画画面を確認する液晶です

3) 決定ボタン

メニュー内の設定を決定する際に、使用します。

その他に、通常はエンジン始動時に本製品が立ち上がり、数秒後に自動で録画を開始致しますが、メニューボタンを使用したい場合、一度決定ボタンを押して録画を停止した状態で、メニューボタンを押して下さい。メニューから録画画面に戻った際は、手動で再度決定ボタンを一度押して、録画を開始して下さい。

4) モード切替

動画撮影モード・静止画撮影モード・再生モードの切り替えを行います。

5) 手動ファイル保護

動画撮影中に本ボタンを押すことで、ファイルを手動で保護することができます。

6) 電源ボタン

電源ボタンを長押しすることで、本製品の電源をオン/オフできます。短く押すとレンズ横の LED ライトのオン/オフを行えます。

7) MicroSD カード挿入口

microSD カードスロット (8~32GB Class10 推奨)

8) 上ボタン

メニュー内のカーソルを移動する際に使用します。

9) メニューボタン

メニュー画面表示の際に使用します。また、メニュー内の戻るボタンとしても使用します。メニューボタンの使用は、録画を行っていない状態でのみ、使用が

5

5

できます。録画状態は、液晶画面左上に赤い文字で秒数が表示されます。
赤い秒数が表示される場合、決定ボタンを押して、録画を止めた状態でメニューボタンを使用してください。

10) 下ボタン

メニュー内のカーソルを移動する際に使用します。

また、動画撮影モード画面で使用すると、写真撮影を行います。

11) リアカメラ

12) リアカメラ電源用 microUSB 出力ポート

フロントカメラから、付属の給電用 microUSB ケーブルを使用してリアカメラへ電源供給をするための出力ポートです。

13) フロントカメラ用 miniUSB 電源入力ポート

付属のシガーアダプターから給電するためのポートです。

14) マイク

15) リセットボタン

本製品が正常に動作を行わない（フリーズやうまく電源が入らない時など）場合に使用します。ご使用の際は、針金などの細いもので奥まで押し込み、「カチッ」という感触がありますと、リセット完了です。

各種機能及び設定詳細

● フォーマット (microSD カードの初期化)

ご使用前に本製品で microSD カードを初期化する必要があります。この操作により、microSD カードをドライブレコーダー用の形式に変更します。
録画を行っていない状態で、メニューボタンを 1 度押すと、メニューが表示されます。上下ボタンを押し進めて行くと、「フォーマット」という項目が

3

ございます。カーソルを合わせて決定ボタンを押すと、「SDカードをフォーマットしますか？全てのデータが削除されます」の表示がされ、「はい」を押すとSDカード内の全てのデータを消去します。

●メニュー設定

メニューボタンを押すと、各モードの設定が行えます。メニューボタンを1度押すと各設定項目が表示されます。各機能の設定を行う際には、**▲▼** 上下ボタンで項目を選択します。項目を選択したらOKボタンを押して、項目内の設定を選択して再度OKを押して下さい。メニューを終了する時は、メニューボタンを押して下さい。※録画中は、メニューボタン等の機能が使えません。

メニューボタンを使用する際は、microSDカードを挿入していない時、あるいはOKボタンを押して録画を停止した状態でメニューを開くことができます。全ての設定が完了したら、メニューボタンで録画画面に戻り、再度OKボタンを押すと録画が開始されます。

※全てのメニュー設定は内蔵バッテリーが完全に放電した場合リセットされますので運転をしない期間が長い場合、こまめに充電をしてください。

●G-センサー

衝撃を感じると、自動で録画中のファイルを保護する機能です。保護されたファイルは、上書き録画で削除されなくなります。高 > 中 > 低の順に、衝撃を受けた際のセンサー感度が高くなるため、高に設定すると、わずかな揺れでもファイルをロックします。

●自動電源オン

本製品は電源接続後、車両のエンジン始動時に、自動的に電源がオンになります。車両のエンジンを切った後、電源供給が止まると、自動的に電源がオフになります。

●自動電源オフ

動画撮影モード画面にて、メニューボタンを1度押し、「自動オフ」の項目を選択してOKボタンを押すと、「0分 / 5秒 / 10秒 / 30秒」で設定が行えます。エンジン停止後、設定した秒数程度で電源が自動的にオフになります。

●画面オフ

動画撮影モード画面にて、メニューボタンを1度押し、下ボタンを押し進めていくと、「画面オフ」の項目がございます。こちらを選択してOKボタンを押すと、「オフ / 30秒 / 1分 / 3分」の設定が行えます。選択してOKを押すと、設定した時間で操作が感知されない場合、設定秒数で自動的に画面がオフになります。録画中も画面がオフになりますが、撮影は行なっております。

●上書き録画設定

動画撮影モード画面にて、メニューボタンを一度押し、「録画時間」を選択してOKを押すと、「オフ / 1分 / 3分 / 5分」中から、選択してOKボタンを押すと設定した時間が経過するごとに、一つずつファイルを作成し、容量が一杯になると古いデータ（Gセンサー等でロックされたファイルを除く）から削除を行ないます。

●手動ファイル保護

動画撮影中に**□**ボタンを押すと、自動的に録画中のファイルをロックし上書き録画による削除を回避します。上書き録画設定時間を超過した場合次のファイルも引き続きロックを行います。本機能を解除する場合、再度ボタンを押して下さい。**□**ボタンを押したファイルから、ロックが解除されます。

●駐車モード

動画撮影モード画面で、メニューボタンを1度押し、上下ボタンを押し進めると「駐車モード」の項目がございますので、選択してOKボタンを押して下さい。オフ / 高 / 中 / 低の項目がございます。高にすると、わずかな衝撃でも起動します。

エンジンを停止している駐車時に、衝撃を検知すると、内蔵バッテリーを使用して電源がオンになり、自動で録画を行います。本機能は、20秒程録画を行なった後自動で電源がオフになります。また、駐車モードの機能で録画したデータは削除されない様に、自動ロックされます。本機能をオンにした場合、画面左上に「P」のアイコンが表示されます。

●動体検知

動画撮影モード画面で、メニューボタンを押した後に、下ボタンを押し進めていくと「動体検知」の設定がございます。こちらを選択してOKボタンを押すと、「オフ / 低 / 中 / 高」の設定が行え、「高」にすると、画面内のわずかな動きにも反応しいずれも5秒程の録画を行います。動体検知がオンになっている状態でOKボタンを押すと、動体検知は自動でオフになります。本機能はの動体検知センサーはフロントカメラのみ搭載しております。

●電源オン / オフ

電源ボタンを長押しすると、手動で本製品の電源をオン / オフにすることができます。ご注意：本製品は内蔵バッテリーが少なくなると、自動的に電源が切れます。

●動画撮影モード

microSDカードが挿入された状態かつ、電源が接続されている状態で、電源をオンにした時、自動で動画撮影モードに移行します。

また、電源オン時は数秒後に自動的に録画が開始されます。

■ボタンを押することで、静止画撮影モード→録画再生モードへと切り替えを行います。各モードは画面の左上アイコンに表示されます。

●静止画撮影モード

動画撮影モード画面の状態で**■**ボタンを押すと、静止画撮影モードに移行します。静止画撮影モードでOKボタンを押すと、撮影を行います。

こちらは動画撮影モードでも、下ボタンを押すと、静止画撮影が行えます。

●モード切替ボタン及び録画 / 静止画再生モード

■ボタンを押し進めると、動画撮影モード、静止画撮影モード、録画 / 静止画再生モードに順番に移行します。

録画 / 静止画再生モード画面で、左列の再生カメラを**▲▼**ボタンで選択し、OKボタンを押すと、グリッド表示されているファイルを選択できる様になります。

▲▼上下ボタンを使用することで、グリッド表示内の再生する動画の選択ができます。再生する動画を決定したらOKボタンを押して下さい。

●日付 / 時刻設定

メニューボタンを押し、**▲▼**上下ボタンを押し進めていくと、「日付 / 時刻設定」の項目が表示されます。

選択してOKを押すと、年 / 月 / 日 / 時刻の順に設定が行え、**▲▼**上下ボタンで数値を設定して下さい。設定後、OKボタンを押すと次の項目へ移行します。

完了したら、最後に「実行」を選択してOKを押して下さい。

その後、全ての設定が完了致しましたら、メニューボタンを押して録画撮影画面に戻って下さい。

また、設定の確認や決定を行う際も、OKボタンを押して下さい。

バッテリー残量表示

●バッテリー残量表示



本製品の充電方法

- 1.市販のコンセントUSBアダプターから、miniUSBケーブルを使用して充電する
- 2.付属のシガーソケットからの充電 (12V・24V)
- 3.PCのUSBポートからの充電

※コンセントUSBアダプター及び、miniUSBケーブルは本製品に付属しておりません。

主な機能

電源電圧	入力:12V~24V 出力:5V
内蔵電池（有無 / 容量）	DC3.7V 230MA
定格電流	約 750MA
消費電力	約 4W
動作温度	-20 ~ +75°C
ディスプレイ	3.0インチ, 360*640IPS, 40PIN MIPI インターフェース
対応 SD カード	MicroSD カード 8~32GB(Class 10) 別売
ケーブル長	シガーソケット給電ケーブル: 4m (フロントカメラ) リアカメラ接続用ケーブル: 5.5m リアカメラ本体ケーブル: 0.5m

フロントカメラ	
イメージセンサー	200万センサー 1/2.9" CMOS GC 2053 1080P
SENSOR 記録画角	対角 120° 水平 100° 垂直 55° (測定誤差 5%) 弊社実測値
フレームレート	30 fps
レンズ	4G+IR @17mm F/ON 2.4 f=3.2
動画解像度	1080P 1920X1080 / 720P 1280X720
静止画解像度	2MHD 1920X1088 / 1.2M 1280X960
リアカメラ	
イメージセンサー	100万 1/4" CMOS センサー
SENSOR 記録画角	対角 120° 水平 100° ±5° 垂直 55° ±5° (測定誤差 5%) 弊社実測値
フレームレート	25 fps
レンズ	2G+2P+IR @14mm F/ON =2.2
動画解像度	720P 1280X720
静止画解像度	1M 1280X720
フロントカメラ	
本体サイズ	87*50*34.5mm (W*H*D)
リアカメラ	
本体重量	約 100g
附件	フロントカメラ ×1、フロントカメラ取り付け用ブラケット ×1 リアカメラ ×1、リアカメラ取り付け用ブラケット ×1 給電用シガーアダプター ×1、リアカメラ接続用電源ケーブル ×1 取扱説明書兼保証書 ×1

トラブルシューティング

動作中に異常が発生した場合は、下記の操作をお試しください。

- 動画や静止画の撮影が出来ない**
microSDカードは書き込み速度の速いClass10のものを推奨します。保存がされない場合はmicroSDカードに十分な空き容量があるかカードが故障していないかご確認下さい。SDカードのフォーマットでも改善する場合が御座います。

- 録画が止まる**
高解像度のデータを連続で保存する為、Class10以上のmicroSDカードをご利用下さい。Class10以下のmicroSDカードは使用できません。

- 再生時に「ファイルエラー」と表示される**
新しいmicroSDカードを使用するときは必ず本体でフォーマットを一度行って下さい。フォーマットを行わずに撮影を行うとファイルが正しく保存できない場合が御座います。故障したSDカードを挿入した場合も書き込みが正しく行われず同様のエラーが発生する場合があります。

- 録画した映像が不鮮明**
レンズ部に汚れが付いていないかご確認下さい。指紋などの汚れがあった場合は映像に映り込み、録画データが不鮮明となる場合があります。リアガラスにスモークなどのカーフィルムが張り付けられている場合は正常に撮影が出来ない場合が御座います。

- 画面がフリーズする、操作ボタンを受け付けない**

本体上部のリセット穴の中のボタンをピンのようなものを押してください。
本体が再起動します。

- 上書き録画を設定しているのにカードが一杯ですと表示される**

GSensorの設定を変更して下さい。
GSensor(ジーセンサー)は、事故の際などに車体の揺れなどを感知して、ファイルを削除できないようにロックする設定になります。
低・中・高・オフと設定出来るようになっております。設定値が高いほど、小さな揺れでもファイルのロックが行われます。ロックされたファイルは上書きの対象外となる為ロックされたファイルがmicroSDカードの容量を圧迫すると上書き録画の設定を行っておっても「カードが一杯です」と表示されます。
ロックされたファイルを削除する場合は、フォーマットを行い、保存されている録画データをすべて削除して下さい。

- microSDカードのフォーマットについて**

一般的にSDカードは書き込みを繰り返す事で故障のリスクが高まります。万が一の際に正常に録画が行われていなかったなどのケースを避ける為に定期的にフォーマットを行って頂くとともに正常に録画が行われているか確認を行って下さい。